

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市ふるさと農具館		
施設概要	【所在地】町田市野津田町2288番地 【開設年月】1992年11月 【開館日時】火曜日～日曜日／9時30分～16時30分(11月～1月は9時30分～16時) 【建物面積】404.57㎡ 【建物内容】ふれあい館(151.52㎡)、体験実習館(133.9㎡)、パネル館(99.28㎡)、菜種貯蔵庫(19.87㎡) ふれあい館…昔から使われてきた農具の展示や生活様式の紹介をしている パネル館…市の農業などに関するパネルを展示している 体験実習館…月に一度油しぼりの実演を行っている 【建物構造】木造一部鉄骨造平屋建(ふれあい館、体験実習館)、木造平屋建(パネル館、菜種貯蔵庫)		
設置目的	町田の農業を後世に継承し、また多くの市民に農業への理解を深めてもらうため。		
設置根拠法令・条例	町田市ふるさと農具館条例		
所管部課	経済観光部 農業振興課	問合せ先	042-724-2166
施設ホームページURL	https://www.city.machida.tokyo.jp/kanko/sangyo/nougyo/shimintonou/agri02.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	七国山ふれあいの里組合	法人番号	5700150115299
指定管理者所在地	町田市野津田町2452番地		
指定期間	2024年4月1日～2029年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)施設管理等に関する業務…施設利用サービス業務、展示品の管理、体験企画等を行う。 (2)施設整備の維持管理業務…施設設備の点検や修繕、建物の清掃、裏山散策緑地管理に関する業務を行う。 (3)農具を利用した農作業の実演に関する業務…毎月1回以上、なたね油しぼりの実演等を行う。		
利用料金制	☐ 該当 ☐ 併用 ☒ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
施設利用者数の上昇	毎年度	イベントなどを実施し、上昇を試みましたが、達成できませんでした。
近隣施設と連携により認知度上昇	毎年度	近隣施設に合わせてイベントを実施し、認知度上昇を図りました。
館内施設の充実とサービスの見直しによる改善	毎年度	ふれあい館のサインや装飾のリニューアルを実施した。

3. 昨年度の課題

内容	集客に向けた取組を積極的に進め、今後も利用者に足を運んでもらえる魅力ある企画の検討を行う必要がある。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	B 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	景観作物を活用したイベントの実施や小学校等の積極的な受け入れを行ったが、利用者数は15,608人となり、昨年度より1,010人減少した。景観作物を活用した「七国山のそばの実の収穫体験」や「七国山のそば粉を味わう会」のイベントでは、昔ながらの農機具を使用し、農業に触れる機会とふるさと農具館のPRに努めることができた。また、施設内のサインや装飾の更新を行い、利用者の利便性の向上を図ることができた。今後は、イベントに加えて館内での農機具体験の実施など、新たなサービスを検討し、より多くの方に利用していただけるよう、魅力的な施設づくりを目指して欲しい。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	小学校の見学受け入れは積極的に行っていたが、猛暑などの天候等の影響でキャンセルとなる学校もあり、施設全体の利用者数も減少した。今後は、足踏み脱穀機や唐箕などの農具を実際に触れて体験できることを検討し、魅力ある施設づくりを目指す。また、利用者がふれあい館に入りやすい雰囲気づくりを行っていきたい。景観作物を利用した「七国山のそばの実収穫体験」や「七国山のそば粉を味わう会」もさらに魅力あるものとしていけるよう検討していききたい。

【評価対象年度 2024年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2024年4月～2025年3月 【回収枚数】 127枚 【調査方法】 配布および設置
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:80%以上 B:50%以上～80%未満 C:50%未満	55%	99%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	55	60	65	70	75
目標値(変更後)	－				
実績値	99				

指標2	評価基準	目 標	結 果	評 価	
団体利用数	A:50組以上 B:30組～49組未満 C:29組以下	30組	28組	C	
指定期間内における実績(単位:組)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	30	35	40	45	50
目標値(変更後)	－				
実績値	28				

指標3	評価基準		目標	結果	評価
施設利用者数	A: 20,000人以上 B: 15,000人～20,000人未満 C: 15,000人未満		16,500人	15,608人	B
指定期間内における実績(単位: 人)					
年度	2024	2025	2026	2027	2028
目標値(当初)	16,500	17,000	17,500	18,000	18,500
目標値(変更後)	－				
実績値	15,608				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	景観作物を活用したイベントの開催を通じて、利用者数の増加に取り組んだが、施設利用者数は減少した。団体利用者数に関しては、2023年度の21組から7組の増加が見られたが、目標値には達することができなかった。目標値の達成には至らなかったものの、利用者満足度においては目標値を上回り、99%という非常に良好な水準を維持している。今後も利用者満足度を維持しつつ、より多くの方が施設を利用してくれるよう魅力ある施設を目指して欲しい。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2024年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
施設運営	施設の適切な管理運営	設置目的や市の計画に沿った適切な運営・管理が実施されている。	設置目的や市の計画に沿った運営・管理が適切に実施されていることをヒアリングや報告書により確認した。	適
	物品の適切な管理	展示品等の物品を丁寧に取り扱い、適切に管理している。	毎月提出される備品管理表で物品を丁寧に取り扱い、適切に管理していることを確認した。	適
情報管理	情報公開の取組み	情報公開の取組みや体制が適切になされている。	個人情報の取扱い及び開示に関する仕組みを定めていることを年度協定締結時に確認した。	適
	個人情報保護・情報セキュリティの取組み	個人情報保護や情報セキュリティの取組みや体制が適切になされている。	個人情報取扱規定を設けて実施していることや個人情報に関わるものは施錠できる保管庫で管理していることを現地で確認した。	適
安全管理	施設整備の安全管理・保守点検・清掃等	設備機器（消防・防災・空調等）の日々の点検や定期点検、施設の清掃等を実施し、安全・清掃を保っている。	業者による年2回の消防点検、年4回の空調点検が実施されたことを業務報告書から確認した。	適
	災害や事故発生時の適切な対応	緊急時の連絡体制が確立し、対応が職員間で徹底されている。	年度当初に連絡網を作成し、職員間で周知徹底されていることを確認した。	適
人的安定性	職員の配置状況の適正化	従事人数や役職者人数等、職員の配置は計画通り適正に実施されている。	農具館管理業務規則に則り、適正に職員の配置が実施されていることを業務報告書で確認した。	適
	職員間の情報共有等	職員間での情報共有やフォローが適切に実施されている。	打ち合わせや職員間の連絡ノートにより情報共有がされていることを現地調査で確認した。	適
地域貢献	市内従業員の雇用率	市内従業員の雇用率が適正である。	従業員全員が市内在住であることをヒアリングや書面で確認した。	適
	地域や関連団体との連携	地域住民や関連団体との協働の取組みを行っている。	農具館周辺の整備を地域住民とおこなったり、付近の路上駐車防止に努めていることを現地で確認した。	適
環境配慮	節電・節水の取組み	節水・節電を心掛け、日々の業務の中で取り組んでいる。	日々の業務の中で節水や節電に心掛けていることを現地調査で確認した。	適
	ゴミ減量化やリサイクルの取組み	ゴミの減量化やリサイクルを心掛け、日々の業務の中で取り組んでいる。	落ち葉や油しぼりの油カスを肥料などに活用するなど、業務の中でゴミ減量に取り組んでいることを確認した。	適
業務仕様書	農具を利用した農作業の実演	なたね油しぼりの実演等を行い、来館者へ農に関する知識の普及や農業の関心惹起を図っている。	毎月第3土曜日になたね油しぼりの実演を行い、農に関する知識の普及に取り組んでいる事を現地で確認した。	適
	裏山散策緑地の管理	定期的に草刈りを行い、裏山散策緑地を適切に管理している。	年1回裏山散策緑地の草刈りを行っていることを業務報告書で確認した。	適

(2) 業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
会計経理	会計経理事務	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月28日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
労働条件	労働条件	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年2月28日にモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果（適否）	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、月次業務報告書、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2024年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2024			2025			2026		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	8,388		8,388	8,592			8,600		
	利用料金									
	自主事業	1,686		1,477	1,686			1,686		
	その他									
	計	10,074		9,865	10,278			10,286		
支出	人件費	5,750		5,686	5,954			5,962		
	管理費	2,422		2,251	2,422			2,422		
	運営費	216		231	216			216		
	自主事業	1,076		935	1,076			1,076		
	その他			3						
	計	9,464		9,106	9,668			9,676		
総計(収入-支出)		610	0	759	610	0	0	610	0	0

年度		2027			2028		
項目		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	8,600			8,600		
	利用料金	-					
	自主事業	1,686			1,686		
	その他						
	計	10,286			10,286		
支出	人件費	5,962			5,962		
	管理費	2,422			2,422		
	運営費	216			216		
	自主事業	1,076			1,076		
	その他						
	計	9,676			9,676		
総計(収入-支出)		610	0	0	610	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2024	2025	2026	2027	2028
経常利益率	4.2				
負債比率	0				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	不適切な支出がなく、予算総額に対し支出全体が収まっている。管理費等が高騰している中、日頃から経費削減に努め、適切な財務状況である。